

秋田市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表 (傍線赤文字部分は変更箇所)

変 更 後	変 更 前
<p>様式第4 [基本計画標準様式]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 基本計画の名称：秋田市中心市街地活性化基本計画</li><li>○ 作成主体：秋田県秋田市</li><li>○ 計画期間：平成20年7月から<b>平成26年6月まで</b></li></ul> <p>0. 略 1. 略 2. 略</p>	<p>様式第4 [基本計画標準様式]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 基本計画の名称：秋田市中心市街地活性化基本計画</li><li>○ 作成主体：秋田県秋田市</li><li>○ 計画期間：平成20年7月から<b>平成25年3月まで(4年9月)</b></li></ul> <p>0. 略 1. 略 2. 略</p>

**3. 中心市街地の活性化の目標**

3つの基本方針に基づく秋田市中心市街地の具体的再生を図るべく、各々の基本方針に対応した目標として、フローチャートに示す3つ（訪れる人による賑わいづくり、住む人による賑わいづくり、商店街の活力による賑わいづくり）を設定し、その各々の切り口での活性化に取り組み、その結果での中心市街地の総体的活性化に資するものとする

（以下略）

**3. 中心市街地の活性化の目標**

3つの基本方針に基づく秋田市中心市街地の具体的再生を図るべく、各々の基本方針に対応した目標として、フローチャートに示す3つ（訪れる人による賑わいづくり、住む人による賑わいづくり、商店街の活力による賑わいづくり）を設定し、その各々の切り口での活性化に取り組み、その結果での中心市街地の総体的活性化に資するものとする

（以下略）

## ■目標 1 訪れる人による賑わいづくり

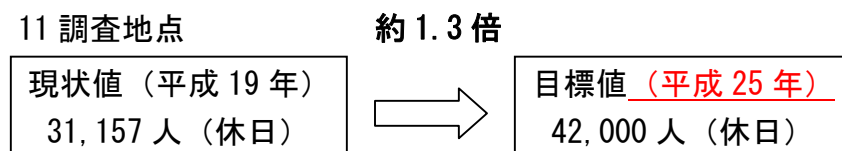
- 郊外型の大規模小売店舗のように、買い物や映画鑑賞といった単一目的の集客ではなく、その歴史性や多様性、周辺での旧来からの居住人口等を背景に、買い物や福祉・医療施設・娯楽施設等の利用、芸術・文化活動や街なかの散策、学生の大学横断的交流、イベントへの参加や見物などを楽しむ等、非常に多岐にわたる目的で訪れた人が出会い、交流することで賑わうまちを目指す。

### ① 目標設定の考え方

・略

### ② 具体的な目標値の考え方

- 秋田市中心市街地における歩行者・自転車通行量の特徴として、平日の値が休日の値を上回っていることから、休日における 11 調査地点の歩行者・自転車通行量を増やすことを目標として、商業振興とともに新交通の整備、都市機能の集積などの各種事業に取り組むことで、平日の増加にも繋げる。
- 平成 25 年の目標値については、郊外に大規模小売店舗が立地し始めた 5 年からの影響に伴う減少分を考慮した値とする。
- なお、計画の終期は「平成 25 年 3 月」から「平成 26 年 6 月」に変更したが、目標値の設定については、計画策定当初の目標年次である「平成 24 年」の値を用いることとする。



(以下略)

## ■目標 1 訪れる人による賑わいづくり

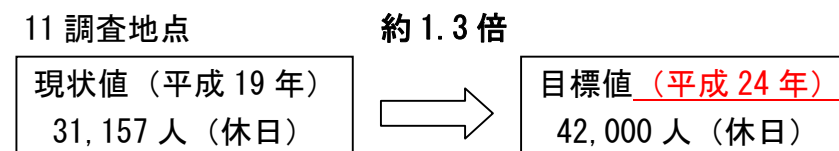
- 郊外型の大規模小売店舗のように、買い物や映画鑑賞といった単一目的の集客ではなく、その歴史性や多様性、周辺での旧来からの居住人口等を背景に、買い物や福祉・医療施設・娯楽施設等の利用、芸術・文化活動や街なかの散策、学生の大学横断的交流、イベントへの参加や見物などを楽しむ等、非常に多岐にわたる目的で訪れた人が出会い、交流することで賑わうまちを目指す。

### ① 目標設定の考え方

・略

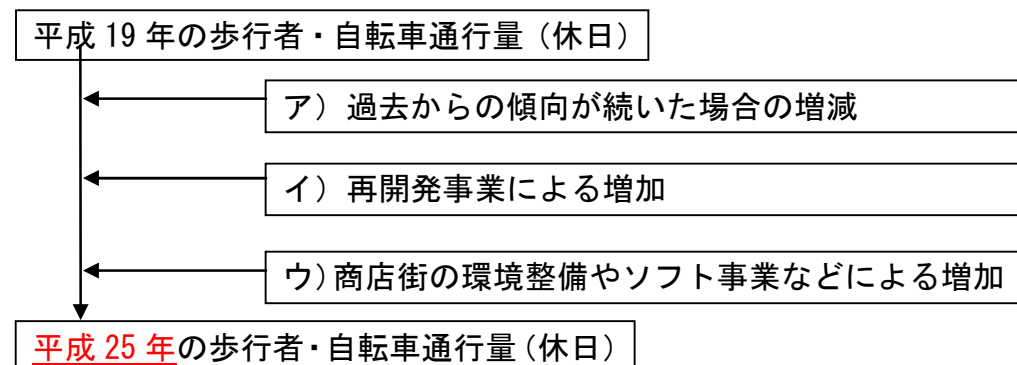
### ② 具体的な目標値の考え方

- 秋田市中心市街地における歩行者・自転車通行量の特徴として、平日の値が休日の値を上回っていることから、休日における 11 調査地点の歩行者・自転車通行量を増やすことを目標として、商業振興とともに新交通の整備、都市機能の集積などの各種事業に取り組むことで、平日の増加にも繋げる。
- 平成 24 年の目標値については、郊外に大規模小売店舗が立地し始めた 5 年からの影響に伴う減少分を考慮した値とする。



(以下略)

### ③ 設定の方法

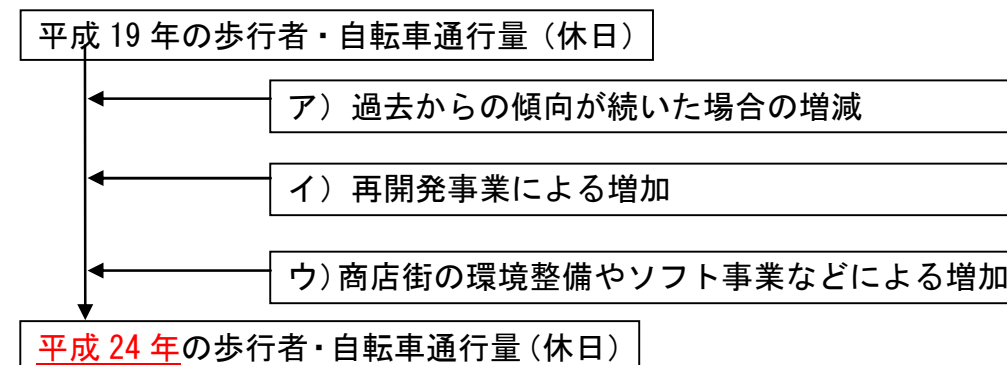


(以下略)

### ④ フォローアップの考え方

- ・歩行者・自転車通行量の基礎数値は、「市内主要商業地通行量調査」(秋田市、秋田商工会議所)を活用している。調査は3年おきに実施しており、計画期間における調査実施年次は平成20年、23年であるが、調査の端境である21年、22年、24年、25年については、秋田市のみで11地点の調査を予定しており、これらの結果をもとにフォローアップを実施するとともに、目標達成に向けた適切な施策を展開する。
- ・なお、25年実施の調査結果については、最終フォローアップとして報告する。

### ③ 設定の方法



(以下略)

### ④ フォローアップの考え方

- ・歩行者・自転車通行量の基礎数値は、「市内主要商業地通行量調査」(秋田市、秋田商工会議所)を活用している。調査は3年おきに実施しており、計画期間における調査実施年次は平成20年、23年であるが、調査の端境である21年、22年、24年ついては、秋田市のみで11地点の調査を予定しており、これらの結果をもとにフォローアップを実施するとともに、目標達成に向けた適切な施策を展開する。

## ■目標2 住む人による賑わいづくり

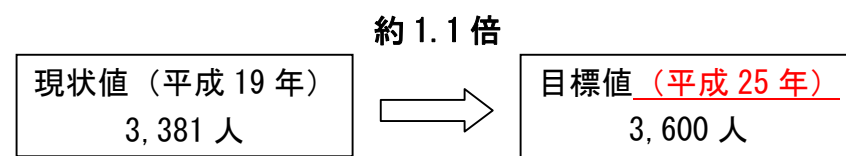
- 千秋公園の魅力向上と生活に必要な機能の充実を図りながら、多様な世代が住み続けたいと思える居住環境を形成し、近くに住む人にとって近隣型・地域型商店街としての機能も兼ね備えた日々の買い物やコミュニティ活動等により賑わうまちを目指す。

### ① 目標設定の考え方

- 略

### ② 具体的な目標値の考え方

- 生活利便性の向上など居住の場としての中心市街地の魅力を高めるとともに、民間開発の誘導や中通一丁目地区市街地再開発事業、公営住宅整備による受け皿づくりを進め、定住人口の増加を図る。
- 中心市街地の人口は、平成14年以降漸増基調にあるが、今後も持続可能な中心市街地の活性化を推進していくためには、定住人口をさらに増やし、街なか回帰の基調を確実なものとする必要があることから、**25年**の目標値については、現況値から219人増の3,600人とする。
- 平成25年**の目標値については、目標1と同様、郊外に大規模小売店舗が立地し始めた5年からの影響に伴う減少分を考慮したものとする。
- なお、計画の終期は「平成25年3月」から「平成26年6月」に変更したが、目標値の設定については、計画策定当初の目標年次である「平成24年」の値を用いることとする。



(以下略)

## ■目標2 住む人による賑わいづくり

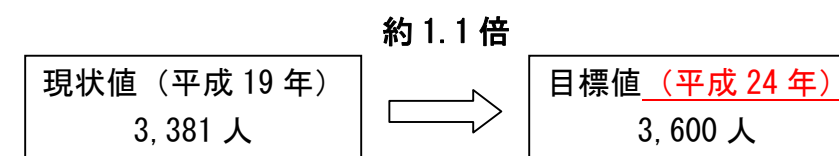
- 千秋公園の魅力向上と生活に必要な機能の充実を図りながら、多様な世代が住み続けたいと思える居住環境を形成し、近くに住む人にとって近隣型・地域型商店街としての機能も兼ね備えた日々の買い物やコミュニティ活動等により賑わうまちを目指す。

### ① 目標設定の考え方

- 略

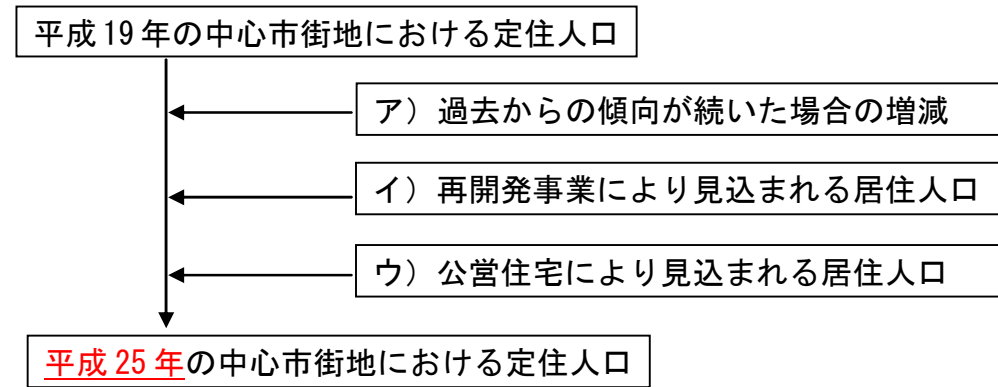
### ② 具体的な目標値の考え方

- 生活利便性の向上など居住の場としての中心市街地の魅力を高めるとともに、民間開発の誘導や中通一丁目地区市街地再開発事業、公営住宅整備による受け皿づくりを進め、定住人口の増加を図る。
- 中心市街地の人口は、平成14年以降漸増基調にあるが、今後も持続可能な中心市街地の活性化を推進していくためには、定住人口をさらに増やし、街なか回帰の基調を確実なものとする必要があることから、**24年**の目標値については、現況値から219人増の3,600人とする。
- 平成24年**の目標値については、目標1と同様、郊外に大規模小売店舗が立地し始めた5年からの影響に伴う減少分を考慮したものとする。



(以下略)

③ 設定の方法

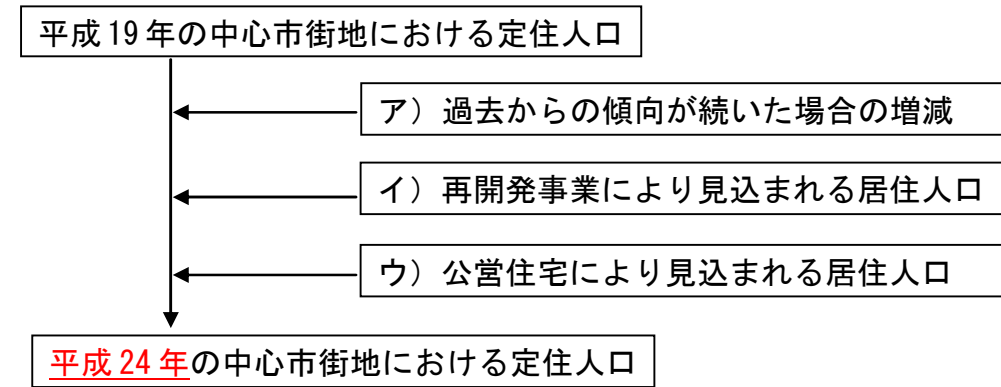


(以下略)

④ フォローアップの考え方

- ・ 定住人口の基礎数値は、「国勢調査」（総務省）の人口をベースに、「住民基本台帳」（秋田市）及び外国人登録の移動状況等による届け出をもとに推計する「秋田市年齢別・地区別人口」を活用している。統計は毎年実施しており、この数値をもとにフォローアップを実施するとともに、目標達成に向けた施策を展開する。
- ・ なお、25年実施の調査結果については、最終フォローアップとして報告する。

③ 設定の方法



(以下略)

④ フォローアップの考え方

- ・ 定住人口の基礎数値は、「国勢調査」（総務省）の人口をベースに、「住民基本台帳」（秋田市）及び外国人登録の移動状況等による届け出をもとに推計する「秋田市年齢別・地区別人口」を活用している。統計は毎年実施しており、この数値をもとにフォローアップを実施するとともに、目標達成に向けた施策を展開する。

### ■目標3-1 商店街の活力による賑わいづくり

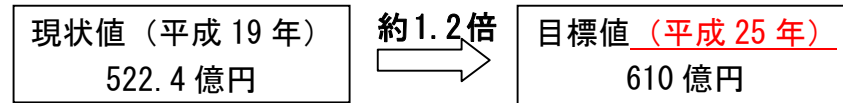
- 空き店舗の解消や再開発ビルへの商業機能の誘導、市民ニーズに応じた商業サービスの充実などにより、商業活力を再興し、商店街の経済行為に関する活況度を向上させ商業者や買い物客などによる賑わいの形成を目指す。

#### ① 目標設定の考え方

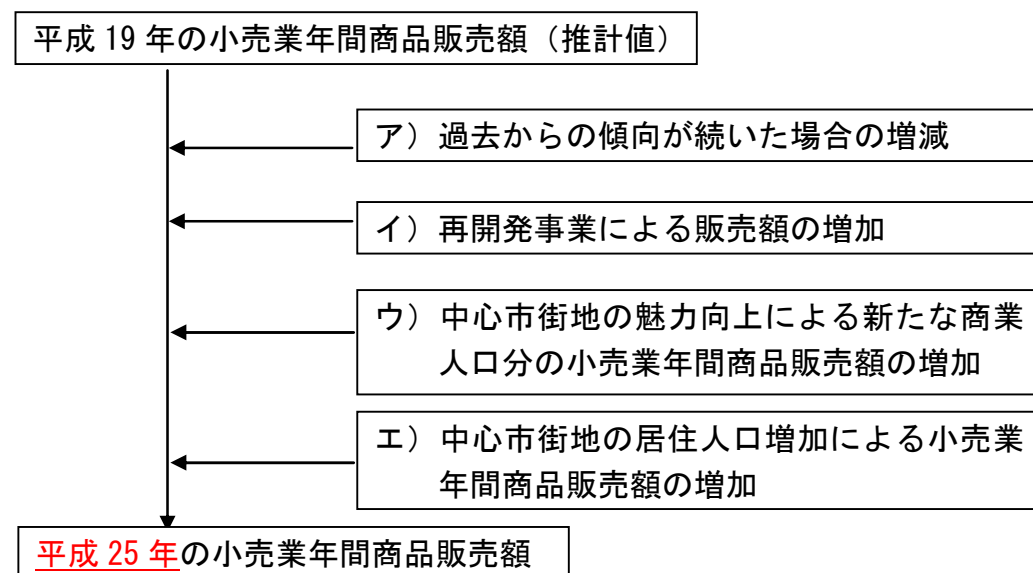
・略

#### ② 具体的な目標値の考え方

- 居住・医療・レクリエーションなどの都市機能の集積による来街者の増加とともに、再開発事業や商店街の商業環境の整備による小売業年間商品販売額の拡大を図る。
- 平成25年の目標値については、現況値から87.6億円(約17%)増の610億円とする。
- この目標値は、次ページ以降説明する小売業販売効率が急落し、現在値近傍に収束した平成14年からの影響に伴う減少分を考慮した値とする。
- なお、計画の終期は「平成25年3月」から「平成26年6月」に変更したが、目標値の設定については、計画策定当初の目標年次である「平成24年」の値を用いることとする。



#### ③ 設定の方法



### ■目標3-1 商店街の活力による賑わいづくり

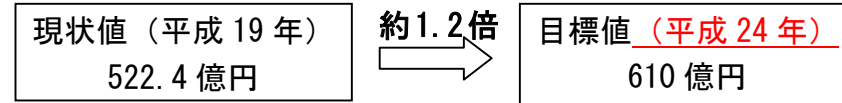
- 空き店舗の解消や再開発ビルへの商業機能の誘導、市民ニーズに応じた商業サービスの充実などにより、商業活力を再興し、商店街の経済行為に関する活況度を向上させ商業者や買い物客などによる賑わいの形成を目指す。

#### ① 目標設定の考え方

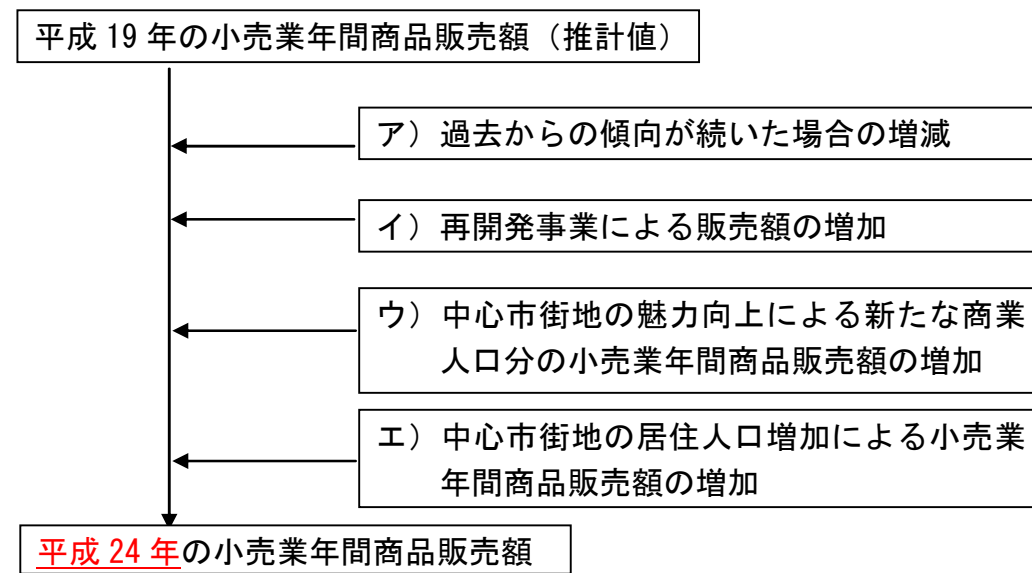
・略

#### ② 具体的な目標値の考え方

- 居住・医療・レクリエーションなどの都市機能の集積による来街者の増加とともに、再開発事業や商店街の商業環境の整備による小売業年間商品販売額の拡大を図る。
- 平成24年の目標値については、現況値から87.6億円(約17%)増の610億円とする。
- この目標値は、次ページ以降説明する小売業販売効率が急落し、現在値近傍に収束した平成14年からの影響に伴う減少分を考慮した値とする。



#### ③ 設定の方法





ア) 過去からの傾向が続いた場合の増減

平成6年以降（郊外型の大規模小売店舗が立地し始めた年以降）の小売業年間商販売額、小売業販売効率は減少基調にある。これらのデータをもとに回帰式に当てはめ、平成19年と24年の小売業年間商品販売額を推計すると、次表（表3-15）のとおり、それぞれ52,244百万円、47,662百万円（＝**476.6億円**）となる。

●過去の実績に基づく推計値

表3-15 中心市街地における小売業データ

	実績値				現況年推計値	目標年推計値
	平成6年	平成9年	平成14年	平成16年	平成19年	平成24年
小売業年間商品販売額(百万円):補正值	107,719	93,175	64,655	53,426	52,244	47,662
小売業売場面積(㎡)	104,770	99,393	98,729	82,271		
小売業販売効率(万円/㎡)	102.8	93.7	65.5	64.9	60.0	56.0
小売業年間商品販売額(百万円)	105,672	92,802	65,108	53,426		
秋田市消費者物価指数(平成16年=100)	98.1	99.6	100.7	100.0		

補正值とは、小売業年間商品販売額に、16年を100とした秋田市消費者物価指数を加味した値である。

資料:「商業統計調査」(経済産業省)、「消費者物価指数年報」(総務省)

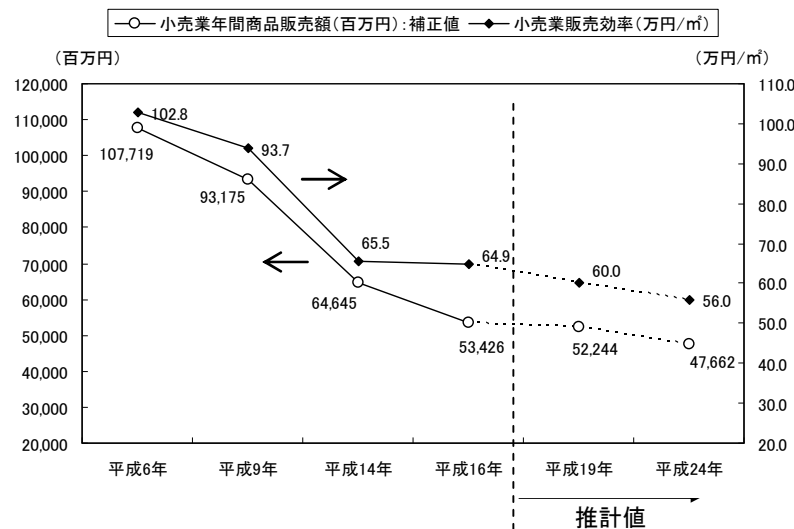


図3-6 中心市街地における小売業年間商品販売額の推移

図3-6のとおり、小売業販売効率は、平成10年の日赤病院の郊外移転を背景に、9年から14年にかけて急落している。この個別要因について、中心市街地内における6個別商店街（商業統計では4商店街に集約）および大規模小売店舗（9店舗、うち1店舗については、14年データなし）別に、表3-15で概括してみると、販売効率は3商店街および6大規模小売店舗で下落し、特に、年間商品販売額の中心市街地全体に対する割合が10パーセント以上を占める大町・通町商店街や秋田フォーラス、イトーヨーカドー、本金西武での下落幅が大きいこともあり、全体として同表の右下の欄にあるように9年から14年にかけて、70パーセントに急落したものである。

以上のことから、**平成25年**の目標値は、小売業販売効率が急落し、現在値近傍に収束した14年からの影響に伴う減少分を考慮した値とする。

(以下略)

ア) 過去からの傾向が続いた場合の増減

平成6年以降（郊外型の大規模小売店舗が立地し始めた年以降）の小売業年間商販売額、小売業販売効率は減少基調にある。これらのデータをもとに回帰式に当てはめ、平成19年と24年の小売業年間商品販売額を推計すると、次表（表3-15）のとおり、それぞれ52,244百万円、47,662百万円（＝**476.6億円**）となる。

●過去の実績に基づく推計値

表3-15 中心市街地における小売業データ

	実績値				現況年推計値	目標年推計値
	平成6年	平成9年	平成14年	平成16年	平成19年	平成24年
小売業年間商品販売額(百万円):補正值	107,719	93,175	64,655	53,426	52,244	47,662
小売業売場面積(㎡)	104,770	99,393	98,729	82,271		
小売業販売効率(万円/㎡)	102.8	93.7	65.5	64.9	60.0	56.0
小売業年間商品販売額(百万円)	105,672	92,802	65,108	53,426		
秋田市消費者物価指数(平成16年=100)	98.1	99.6	100.7	100.0		

補正值とは、小売業年間商品販売額に、16年を100とした秋田市消費者物価指数を加味した値である。

資料:「商業統計調査」(経済産業省)、「消費者物価指数年報」(総務省)

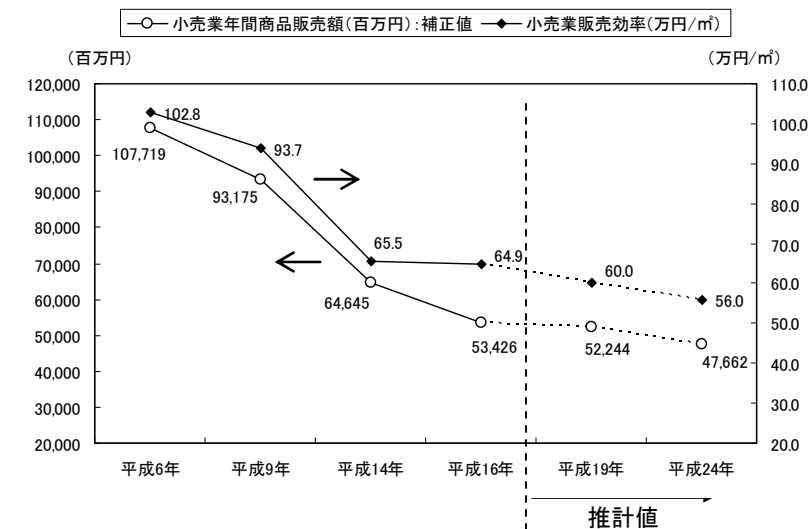


図3-6 中心市街地における小売業年間商品販売額の推移

図3-6のとおり、小売業販売効率は、平成10年の日赤病院の郊外移転を背景に、9年から14年にかけて急落している。この個別要因について、中心市街地内における6個別商店街（商業統計では4商店街に集約）および大規模小売店舗（9店舗、うち1店舗については、14年データなし）別に、表3-15で概括してみると、販売効率は3商店街および6大規模小売店舗で下落し、特に、年間商品販売額の中心市街地全体に対する割合が10パーセント以上を占める大町・通町商店街や秋田フォーラス、イトーヨーカドー、本金西武での下落幅が大きいこともあり、全体として同表の右下の欄にあるように9年から14年にかけて、70パーセントに急落したものである。

以上のことから、**平成24年**の目標値は、小売業販売効率が急落し、現在値近傍に収束した14年からの影響に伴う減少分を考慮した値とする。

(以下略)



イ) ウ) エ) 略

④ フォローアップの考え方

- ・小売業年間商品販売額の基礎数値は「商業統計調査」を活用しており、平成 19 年の現況値については 16 年商業統計調査結果をもとに推計しているため、20 年公表予定の 19 年商業統計調査により検証を行うこととする。フォローアップについては、21 年は商業統計調査が実施されないため、23 年に実施される経済センサスを利用し実施する。
- ・また、24 年の調査結果はフォローアップ時期に間に合わないため、大規模小売店舗の販売額の調査や中心市街地の小売業者に対するアンケート調査により推計し、25 年は 23 年に実施される経済センサスを利用しながら、大規模小売店舗の販売額の調査などにより推計する。
- ・なお、25 年実施の調査結果については、最終フォローアップとして報告する。

イ) ウ) エ) 略

④ フォローアップの考え方

- ・小売業年間商品販売額の基礎数値は「商業統計調査」を活用しており、平成 19 年の現況値については 16 年商業統計調査結果をもとに推計しているため、20 年公表予定の 19 年商業統計調査により検証を行うこととする。フォローアップについては、21 年は商業統計調査が実施されないため、23 年に実施される経済センサスを利用し実施する。なお、目標年の 24 年度の調査結果はフォローアップ時期に間に合わないため、大規模小売店舗の販売額の調査をはじめ、中心市街地の小売業者に対するアンケート調査により推計する。

■目標3-2 商店街の活力による賑わいづくり

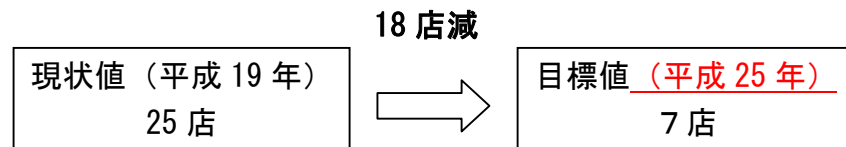
- 中心市街地の商店街には、低未利用地とともにシャッターの下りた空き店舗が存在し、商店街の活力阻害要因となるばかりか、街並みの連続性や賑わい・景観を損ねていることから、空き店舗を解消し商店街として連担性のある賑わいのある街並み形成を目指す。

① 目標設定の考え方

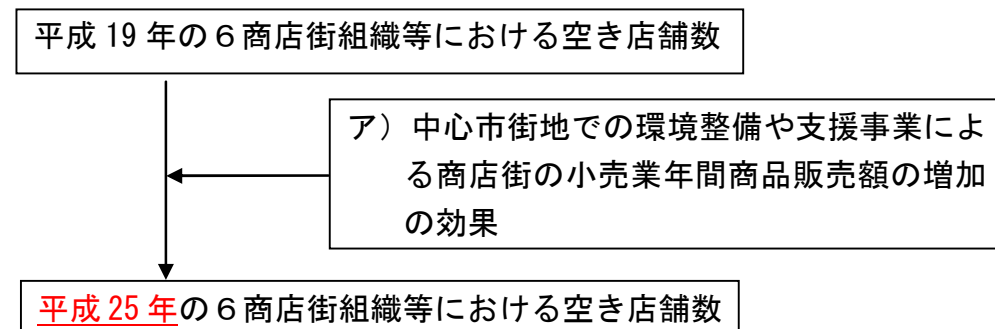
- 略

② 具体的な目標値の考え方

- 空き店舗は、目標3で設定した小売業年間商品販売額と同様に、その地域の商業の活力を測る指標である。このため、空き店舗数の設定に当たっては、目標3の指標である小売業年間商品販売額と整合を図ったものとする。
- 平成25年の目標値の設定については、5年間で空き店舗数を18店減らすものとする。
- なお、計画の終期は「平成25年3月」から「平成26年6月」に変更したが、目標値の設定については、計画策定当初の目標年次である「平成24年」の値を用いることとする。



③ 設定の方法



■目標3-2 商店街の活力による賑わいづくり

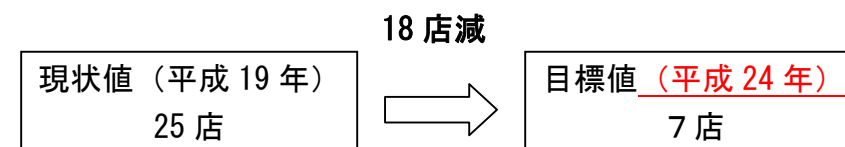
- 中心市街地の商店街には、低未利用地とともにシャッターの下りた空き店舗が存在し、商店街の活力阻害要因となるばかりか、街並みの連続性や賑わい・景観を損ねていることから、空き店舗を解消し商店街として連担性のある賑わいのある街並み形成を目指す。

① 目標設定の考え方

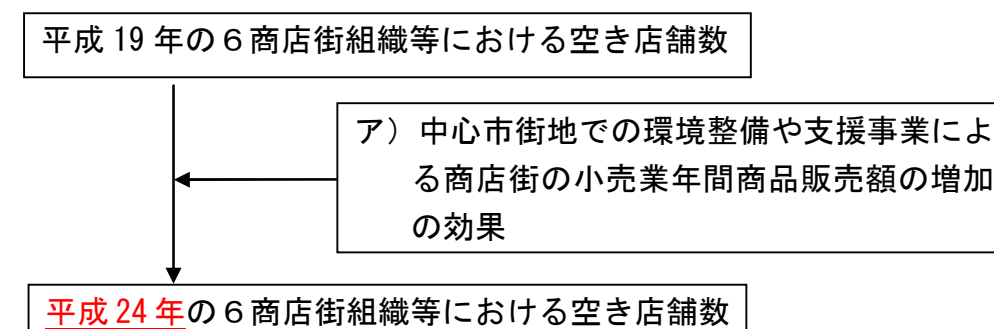
- 略

② 具体的な目標値の考え方

- 空き店舗は、目標3で設定した小売業年間商品販売額と同様に、その地域の商業の活力を測る指標である。このため、空き店舗数の設定に当たっては、目標3の指標である小売業年間商品販売額と整合を図ったものとする。
- 平成24年の目標値の設定については、5年間で空き店舗数を18店減らすものとする。



③ 設定の方法



ア) 略

④ フォローアップの考え方

- ・空き店舗数の基礎数値は、秋田市が毎年 10 月 1 日現在のものを商店街振興組合等に依頼し集計している。このデータを用いてフォローアップを実施するとともに、目標達成に向けた必要な施策を展開する。
- ・なお、25 年実施の調査結果については、最終フォローアップとして報告する。

ア) 略

④ フォローアップの考え方

- ・空き店舗数の基礎数値は、秋田市が毎年 10 月 1 日現在のものを商店街振興組合等に依頼し集計している。このデータを用いてフォローアップを実施するとともに、目標達成に向けた必要な施策を展開する。

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

- [1] 略  
[2] 具体的事業の内容

- (1) 略  
(2) ①略  
(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名：秋田駅西北地区土地区画整理事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：歩道消融雪設備整備事業（中通本線） (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：千秋公園整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：秋田竿燈まつり (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：千秋久保田町線  内容：秋田駅西北地区土地区画整理事業区域外の都市計画道路・千秋久保田町線の整備 L=120m <u>W=18m</u>  実施時期：平成21年度～ <u>平成28年度</u>	(略)	千秋久保田町線（L=350m、W=20m）は、JR奥羽本線により分断された中心市街地を東西に連絡する千秋山崎線と結ぶものであり、秋田駅西北地区土地区画整理事業の一環として整備するものであるが、一部（L=120m、 <u>W=18m</u> ）が当該区画整理事業区域外であるため、その路線を切り離して整備するものである。  秋田駅西口との交通アクセシビリティを向上させ、自動車交通の混雑を緩和するとともに、歩行者と自転車利用者の利便性向上のため必要な事業である。 (歩行者・自転車通行量)	支援措置 社会資本整備 総合交付金(道路事業(街路))  実施時期 平成21年度～ <u>平成28年度</u>	

- (3) 略  
(4) 略  
5. 略  
6. 略

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

- [1] 略  
[2] 具体的事業の内容

- (1) 略  
(2) ①略  
(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名：秋田駅西北地区土地区画整理事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：歩道消融雪設備整備事業（中通本線） (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：千秋公園整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：秋田竿燈まつり (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：千秋久保田町線  内容：秋田駅西北地区土地区画整理事業区域外の都市計画道路・千秋久保田町線の整備 L=120m <u>W=20m</u>  実施時期：平成21年度～ <u>平成26年度</u>	(略)	千秋久保田町線（L=350m、W=20m）は、JR奥羽本線により分断された中心市街地を東西に連絡する千秋山崎線と結ぶものであり、秋田駅西北地区土地区画整理事業の一環として整備するものであるが、一部（L=120m、 <u>W=20m</u> ）が当該区画整理事業区域外であるため、その路線を切り離して整備するものである。  秋田駅西口との交通アクセシビリティを向上させ、自動車交通の混雑を緩和するとともに、歩行者と自転車利用者の利便性向上のため必要な事業である。 (歩行者・自転車通行量)	支援措置 社会資本整備 総合交付金(道路事業(街路))  実施時期 平成21年度～ <u>平成26年度</u>	

- (3) 略  
(4) 略  
5. 略  
6. 略

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置に関する事項

- [1] 略  
[2] 具体的事業の内容

- (1) 略  
(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名：中通一丁目地区市街地再開発事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：買物ポイントによる駐車場無料利用システムの導入 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：まちづくり市民活動育成・支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：秋田竿燈まつり (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：中通一丁目再開発商業施設整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：中心市街地商業集積促進事業(中心市街地出店促進融資あっせん制度)  内容：中心市街地への中小企業者等の出店を促進するため、空き店舗への入居や新店舗の建築などに要する設備資金の一部を融資あっせんする。融資あっせんに際しては、他地区に出店する場合よりも利子補給率を0.5%上乗せした優遇措置を講ずる。  実施時期：平成20年度～平成27年度	市	中心市街地における路面店舗の連担性を確保するとともに、大型商業施設内の空きテナントを解消し、中心市街地の商業集積を促進することで、商業地としての魅力向上及び中心市街地の活性化に資する事業である。 本市の顔となる中心市街地に空き店舗や空きテナントのある大型商業施設があることは、街の魅力を増加させるとともに都市の景観も損なうものであることから、中心市街地への出店を支援する制度により、店舗集積による商業地としての魅力向上と中心市街地の活性化を図る。 (小売業年間商品販売額)(空き店舗数)	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業  実施時期 平成20年度～	
事業名：中心市街地商業集積促進事業(中心市街地商業集積促進補助制度)  内容：中心市街地の空き	市	中心市街地における路面店舗の連担性を確保するとともに、大型商業施設内の空きテナントを解消し、中心市街地の商業集積を促進することで、商業地と	支援措置 中心市街地活性化ソフト事業	

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業その他の商業の活性化のための事業及び措置に関する事項

- [1] 略  
[2] 具体的事業の内容

- (1) 略  
(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名：中通一丁目地区市街地再開発事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：買物ポイントによる駐車場無料利用システムの導入 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：まちづくり市民活動育成・支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：秋田竿燈まつり (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：中通一丁目再開発商業施設整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(4)からの移設				
(4)からの移設				

<p>店舗や大型商業施設内の空きテナントに出店する事業者に対し、テナント賃借料の一部を補助する。</p> <p>実施時期：平成20年度～ <u>平成27年度</u></p>		<p>しての魅力向上及び中心市街地の活性化に資する事業である。</p> <p>本市の顔となる中心市街地に空き店舗や空きテナントのある大型商業施設があることは、街の魅力を減少させるとともに都市の景観も損なうものであることから、中心市街地への出店を支援する制度により、店舗集積による商業地としての魅力向上と中心市街地の活性化を図る。</p> <p>(小売業年間商品販売額) (空き店舗数)</p>	<p><u>実施時期</u> <u>平成20年度～</u></p>						
<p>事業名：千秋公園桜まつり・つつじまつり</p> <p>内容：桜まつりの開催（4月中旬～下旬）ライトアップ、イベント、清掃等 つつじまつりの開催（5月中旬～下旬）ライトアップ</p> <p>実施時期</p>	<p>市、（財）秋田観光コンベンション協会</p>	<p>中心市街地のシンボルである千秋公園で開催されている春のイベントであり、市内外から多くの人が訪れている。</p> <p>今後は、千秋公園の魅力を活かしながら取り組みを継続的に実施し、中心市街地の賑わいと魅力の創出、一層の活性化に寄与するものである。</p> <p>(歩行者・自転車通行量) (小売業年間商品販売額)</p>	<p><u>支援措置</u> <u>中心市街地活性化ソフト事業</u></p> <p><u>実施時期</u> <u>平成20年度～</u></p>						(4)からの移設
<p>事業名：アルヴェ・JR・NHKによる協働プロジェクト</p> <p>内容：アルヴェ・JR・NHKの三者が連携し、案内サインの設置やイベントを開催するなど、秋田駅周辺に新たな魅力を創出</p> <p>実施時期：平成19年度～</p>	<p>市、JR秋田駅、NHK秋田放送局</p>	<p>市、JR及びNHKの3者が組織した秋田駅周辺連絡協議会の取り組みとして、効果的で統一された案内サインを適所に設置し、目的のエリアへの的確な誘導を図る。</p> <p>また、アルヴェやぼぼろーどで、連携イベント等を開催し、駅周辺の新たな魅力を生み出し、駅東西の人の流れの促進や周辺施設の利用拡大、駅周辺の賑わいづくりに寄与する事業である。</p> <p>(歩行者・自転車通行量) (小売業年間商品販売額)</p>	<p><u>支援措置</u> <u>中心市街地活性化ソフト事業</u></p> <p><u>実施時期</u> <u>平成24年度～</u></p>						(4)からの移設
<p><u>事業名：なかいちウインターパーク</u></p> <p><u>内容：冬季において、長いスパンで開催される「エリ</u></p>	<p><u>なかいちウインターパーク実行委員会</u></p>	<p><u>なかいち広場で連続したイベントを展開し、「にぎわい交流館」「サンマルシェ」「新県立美術館」とともに、「エリアなかいち」が冬の『ホットスポッ</u></p>	<p><u>支援措置</u> <u>中心市街地活性化ソフト事業</u></p>						新規追加



<p>アなかいち」にぎわい広場でのイベントの補助</p> <p>実施期間：平成24年度～</p>		<p>ト』となるよう盛り上げることで、中心市街地の賑わいと魅力の創出、一層の活性化に寄与するものである。</p> <p>(歩行者・自転車通行量)</p> <p>(小売業年間商品販売額)</p>	<p>実施時期</p> <p>平成 25 年度～</p>								
<p>事業名：Akita Music Festival 1 (アキタミュージックフェスティバル)</p> <p>内容：中心市街地内の約10会場で、同時開催される音楽のイベントの補助</p> <p>実施期間：平成23年度～</p>	<p>アキタミュージックフェスティバル実行委員会</p>	<p>県内最大級のストリート音楽祭を開催することにより、音楽による中心市街地のにぎわいとイベントを通じた交流人口の増加を図る。</p> <p>(歩行者・自転車通行量)</p> <p>(小売業年間商品販売額)</p>	<p>支援措置</p> <p>中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期</p> <p>平成 25 年度～</p>			新規追加					
<p>事業名：中心市街地まちづくりイベント支援</p> <p>内容：中心市街地での新たなまちづくりイベントの補助</p> <p>実施期間：平成22年度～</p>	市	<p>単なる一過性のイベントに終わることなく、まちづくりのしかけとして活用されているイベントに助成することにより、市民の関心の誘発、地域の活性化などに有効な新たな取り組みを掘り起こし、まちおこし、賑わい創出等に寄与するものである。</p> <p>(歩行者・自転車通行量)</p> <p>(小売業年間商品販売額)</p>	<p>支援措置</p> <p>中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期</p> <p>平成 25 年度～</p>			新規追加					
<p>事業名：交流館開館1周年記念イベント</p> <p>内容：にぎわい交流館の開館1周年を記念したイベントの開催</p> <p>実施期間：平成25年度</p>	市、にぎわい交流館指定管理者	<p>にぎわい交流館の開館1周年を記念したイベントを開催し、中心市街地のにぎわいとイベントを通じた交流人口の増加を図る。</p> <p>(歩行者・自転車通行量)</p> <p>(小売業年間商品販売額)</p>	<p>支援措置</p> <p>中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期</p> <p>平成 25 年度</p>			新規追加					
<p>事業名：第29回国民文化祭秋田市実行委員会プレイベント</p> <p>内容：平成26年度に開催される「第29回国民文化祭・あきた2014」を周知するためのプレイベントの補助</p> <p>実施期間：平成25年度</p>	第29回国民文化祭秋田市実行委員会	<p>中心市街地内3か所において、「第29回国民文化祭・あきた2014」を周知するためのプレイベントを同時開催することにより、国民文化祭の開催に向けた機運を醸成するとともに、中心市街地のにぎわいとイベントを通じた交流人口の増加を図る。</p> <p>(歩行者・自転車通行量)</p> <p>(小売業年間商品販売額)</p>	<p>支援措置</p> <p>中心市街地活性化ソフト事業</p> <p>実施時期</p> <p>平成 25 年度</p>			新規追加					

事業名： <u>秋田 食のにぎわい博覧会</u>	市	<u>中心市街地において、食に関する各種イベントを10月から12月までのロングランで開催することにより、中心市街地のにぎわいとイベントを通じた交流人口の増加を図る。</u> <u>(歩行者・自転車通行量)</u> <u>(小売業年間商品販売額)</u>	<u>支援措置</u> <u>中心市街地活性化ソフト事業</u>  <u>実施時期</u> <u>平成25年度～</u>	
--------------------------	---	--	--	--

- (2) ②略  
(3) 略  
(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名：まちづくり市民活動育成・支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：仲小路タウンビークル環境整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：仲小路タウンビークル運行スタートアップ事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：秋田駅前南・中央地区まちづくり活動の促進 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(2) ①に移設	(略)	(略)	(略)	(略)

新規追加				
------	--	--	--	--

- (2) ②略  
(3) 略  
(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置づけ及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
事業名：まちづくり市民活動育成・支援事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：仲小路タウンビークル環境整備事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：仲小路タウンビークル運行スタートアップ事業 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：秋田駅前南・中央地区まちづくり活動の促進 (略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：中心市街地商業集積促進事業(中心市街地出店促進融資あっせん制度)  内容：中心市街地への中小企業者等の出店を促進するため、空き店舗への入居や新店舗の建築などに要する設備資金の一部を融資あっせんする。融資あっせんに際しては、他地区に出店する場合よりも利子補給率を0.5%上乗せした優遇措置を講ずる。  実施時期：平成20年度～	市	中心市街地における路面店舗の連担性を確保するとともに、大型商業施設内の空きテナントを解消し、中心市街地の商業集積を促進することで、商業地としての魅力向上及び中心市街地の活性化に資する事業である。 本市の顔となる中心市街地に空き店舗や空きテナントのある大型商業施設があることは、街の魅力を減少させるとともに都市の景観も損なうものであることから、中心市街地への出店を支援する制度により、店舗集積による商業地としての魅力向上と中心市街地の活性化を図る。	支援措置  実施時期	

						<b>平成24年度</b>		(小売業年間商品販売額) (空き店舗数)		
(2) ①に移設	(略)	(略)	(略)	(略)		事業名： 中心市街地商業集積促進事業(中心市街地商業集積促進補助制度)  内容:中心市街地の空き店舗を利活用する事業者に対し、出店に係る経費(改装費、宣伝広告費、設備リース料、謝金等)の一部を補助する。補助対象経費について、他地区よりも手厚い優遇措置(他地区は改装費のみ)を講ずる。 また、中心市街地の大型商業施設内の空きテナントに出店する事業者に対し、テナント賃借料の一部を補助する。  実施時期：平成20年度～ <b>平成24年度</b>	市	中心市街地における路面店舗の連担性を確保するとともに、大型商業施設内の空きテナントを解消し、中心市街地の商業集積を促進することで、商業地としての魅力向上及び中心市街地の活性化に資する事業である。 本市の顔となる中心市街地に空き店舗や空きテナントのある大型商業施設があることは、街の魅力を増加させるとともに都市の景観も損なうものであることから、中心市街地への出店を支援する制度により、店舗集積による商業地としての魅力向上と中心市街地の活性化を図る。 (小売業年間商品販売額) (空き店舗数)	支援措置  実施時期	(略)
事業名：ヤートセ秋田祭(略)	(略)	(略)	(略)	(略)		事業名：ヤートセ秋田祭(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(2) ①に移設	(略)	(略)	(略)	(略)		事業名：千秋公園桜まつり・つつじまつり  内容：桜まつりの開催(4月中旬～下旬)ライトアップ、イベント、清掃等 つつじまつりの開催(5月中旬～下旬)ライトアップ  実施時期	市、(財)秋田観光コンベンション協会	中心市街地のシンボルである千秋公園で開催されている春のイベントであり、市内外から多くの人々が訪れている。 今後は、千秋公園の魅力を活かしながら取り組みを継続的に実施し、中心市街地の賑わいと魅力の創出、一層の活性化に寄与するものである。 (歩行者・自転車通行量) (小売業年間商品販売額)	支援措置  実施時期	(略)
事業名：通町通の市(略)	(略)	(略)	(略)	(略)		事業名：通町通の市(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名：大町まつり(略)	(略)	(略)	(略)	(略)		事業名：大町まつり(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
事業名： <u>ハロウィーンウォークin中通タウン</u> 内容：・ハロウィーン統一	<u>中央街区3商店街連絡協議会</u>	仲小路で平成16年度から実施しているイベントで、商店街の賑わい創出と街区内の団体等との交流による地域連携強化に	支援措置 商店街振興事業費補助金(秋田市)	(略)		事業名： <u>ハロウィーンウォークin仲小路</u> 内容：・ハロウィーン統一	<u>仲小路振興会</u>	仲小路で平成16年度から実施しているイベントで、商店街の賑わい創出と街区内の団体等との交流による地域連携強化に	支援措置 商店街振興事業費補助金(秋田市)	(略)

<p>のディスプレイで装飾した商店街を仮装した親子がパレード</p> <p>・仮装コンテスト等の開催</p> <p>実施時期：平成16年度～</p>		<p>貢献している。</p> <p><u>「エリアなかいち」がオープンした平成24年度からは、仲小路のみではなく、隣接する商店街との共催により、会場も拡大し実施している。</u></p> <p>今後は、新たな魅力を加えながら継続的に開催することで、消費者の商店街への関心の高まりや会員の商店街活動に対する意欲の向上を図り、中心市街地の賑わいと魅力の創出、一層の活性化に寄与するものである。</p> <p>(歩行者・自転車通行量) (小売業年間商品販売額)</p>	<p>実施時期 平成17年度～</p>		<p>のディスプレイで装飾した商店街を仮装した親子がパレード</p> <p>・仮装コンテスト、<u>抽選会</u>等の開催</p> <p>実施時期：平成16年度～</p>		<p>貢献している。</p> <p>今後は、新たな魅力を加えながら継続的に開催することで、消費者の商店街への関心の高まりや会員の商店街活動に対する意欲の向上を図り、中心市街地の賑わいと魅力の創出、一層の活性化に寄与するものである。</p> <p>(歩行者・自転車通行量) (小売業年間商品販売額)</p>	<p>実施時期 平成17年度～</p>	
<p>事業名：秋田市中央通りふれあいまつり (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>事業名：秋田市中央通りふれあいまつり (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>事業名：AKITAカジュアルアーツフェスタ (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>事業名：AKITAカジュアルアーツフェスタ (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>事業名：川反外町ドリンクラリー (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>事業名：川反外町ドリンクラリー (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>事業名：ふるさと秋田・駅前カーニバル (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>事業名：ふるさと秋田・駅前カーニバル (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>事業名：千秋公園活性化協議会支援事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>事業名：千秋公園活性化協議会支援事業 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>事業名：あきた青空市 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>事業名：あきた青空市 (略)</p>	(略)	(略)	(略)	(略)
<p>(2) ①に移設</p>	(略)	(略)	(略)	(略)	<p>事業名：アルヴェ・JR・NHKによる協働プロジェクト</p> <p>内容：アルヴェ・JR・NHKの三者が連携し、案内サインの設置やイベントを開催するなど、秋田駅周辺に新たな魅力を創出</p> <p>実施時期：平成19年度～</p>	<p>市、JR秋田駅、NHK秋田放送局</p>	<p>市、JR及びNHKの3者が組織した秋田駅周辺連絡協議会の取り組みとして、効果的で統一された案内サインを適所に設置し、目的のエリアへの的確な誘導を図る。</p> <p>また、アルヴェやぼぼろ一などで、連携イベント等を開催し、駅周辺の新たな魅力を生み出し、駅東西の人の流れの促進や周辺施設の利用拡大、駅周辺の賑わいづくりに寄与する事業である。</p>	<p>支援措置</p> <p>実施時期</p>	(略)

事業名:芸術文化タウン事業(アルヴェきらめきパフォーマーの活動拡大) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

8. 略

		(歩行者・自転車通行量) (小売業年間商品販売額)		
事業名:芸術文化タウン事業(アルヴェきらめきパフォーマーの活動拡大) (略)	(略)	(略)	(略)	(略)

8. 略